

ぼんは嬉しや

定光寺 乙川文英
令和二年八月十九日 加茂法話会

ぼんは嬉しや別れた人も 晴れて此世へ会いに来る ()

雲の間からうらやましげに 踊り見ているお月さま ()

踊り踊るなら手拍子たたけ 調子づかなきゃ唄も出ぬ ()

今宵出た月ア真如のお月 親の後生楽出て照す ()

踊り念仏気も軽々と 明日の家業が苦にならぬ ()

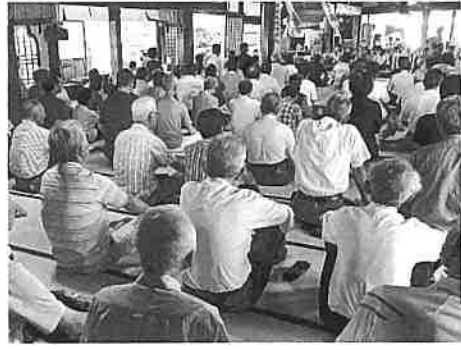
村よお盆よお閻魔様の 赤いお顔が忘らりよか ()

巖谷小波 (明治三年〜昭和八年。「ふじの山」「一寸法師」)

常盤大定 (明治三年〜昭和二十年。僧侶・仏教学者)

野口雨情 (明治十五年〜昭和二十年。「シャボン玉」「赤い靴」)

北原白秋 (明治十八年〜昭和十七年。「雨降り」「砂山」)



令和元年 8月 15日



令和2年 8月 15日



えがホ 夏休み 思い出1シーン
?番 名前 (乙川文英)

てゆがのしゅうとくを
おねがいましたします。

8月13日に父と兄2人で「暑く色に水の」
お盆は、お盆の行儀で「水」の「お盆」は、
「暑く色に水の」は、お盆の行儀で「水」の「お盆」は、
お盆は、お盆の行儀で「水」の「お盆」は、
お盆は、お盆の行儀で「水」の「お盆」は、

